

マイクロサーバの瞬断対策に最適



MADE IN JAPAN

特殊なコンデンサタイプ蓄電方式により
メンテナンスフリーと安全性の向上を両立



サバ太郎® シリーズ専用UPS特徴

- リチウムイオンキャパシタによるメンテナンスフリー ※1)
- 発火の恐れがない安全性
- 用途別に大・中2種のキャパシタ容量が選択可能
- 自社設計による小型化を実現
- 独自のプログラミングによる過充電、過放電防止システム
- AC電源異常検出と通知機能(LED表示とPC側への通知)
- バッテリーの温度異常通知機能を搭載
- バッテリー充電の通知機能(LED表示とPC側への通知)

※1) 長期間通電しない場合はマイコン制御用バックアップ電池の交換が必要になります。

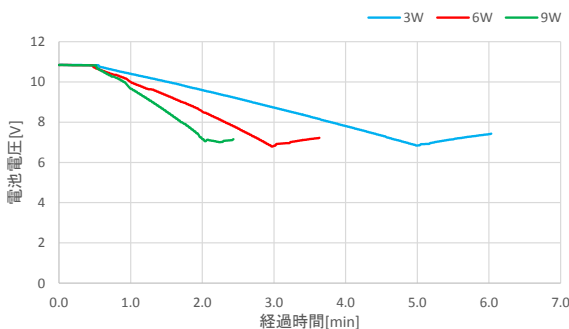
バックアップ時間と放電特性

■ 電池容量(中)

青線(負荷3W): 約4分

赤線(負荷6W): 約2分

緑線(負荷9W): 約1.5分



※ 測定条件: 測定開始30秒後にバッテリーモードへ移行

突然の落雷で停電しても
専用UPSがあれば安心



ハードウェア仕様

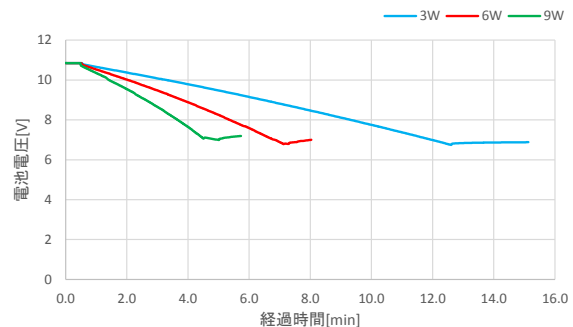
機能	詳細
バックアップ時間	リチウムイオンキャパシタ(中) 3W: 4分 6W: 2分 9W: 1.5分 リチウムイオンキャパシタ(大) 3W: 12分 6W: 6分 9W: 4分
ステータスLED	電源 : 左側緑色 バッテリー充電 : 中央緑色 バックアップ : 右側緑色
電源管理(制御機能)	ACアダプタ電圧監視 PCの電力消費監視(稼働・停止の監視) 電池の過充電、過放電防止 バッテリー温度の監視 ホストPCとの通信
電源入力	DC+12V/3A (最大: USBバスパワーデバイスに電源を供給する場合は大きくなります)
平面寸法(mm)	リチウムイオンキャパシタ(中) 使用の場合 80.6(W) × 110.6(D) × 28.4(H) リチウムイオンキャパシタ(大) 使用の場合 80.6(W) × 110.6(D) × 35.4(H) ※コネクタなどの突起物は除く
通信機能	USB(仮想シリアルポート) × 1

■ 電池容量(大)

青線(負荷3W): 約12分

赤線(負荷6W): 約6分

緑線(負荷9W): 約4分



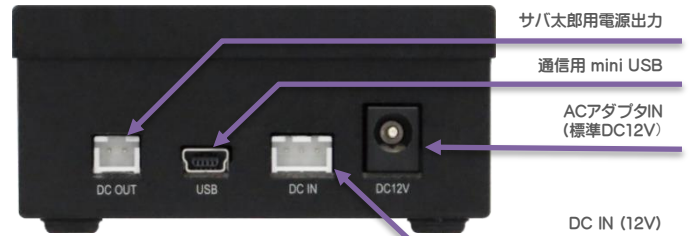
フロント・リアパネル外観

(フロント側)



アクセスLED
パワー / レディー / バックアップ

(リア側)



サーバ専用電源出力

通信用 mini USB

ACアダプタIN
(標準DC12V)

DC IN (12V)

製品ラインナップ



リチウムイオンキャパシタ(中)搭載

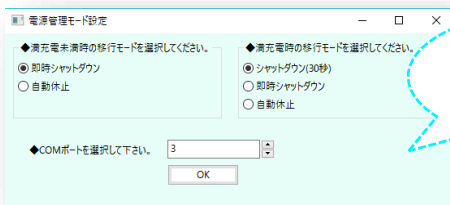
リチウムイオンキャパシタ(大)搭載



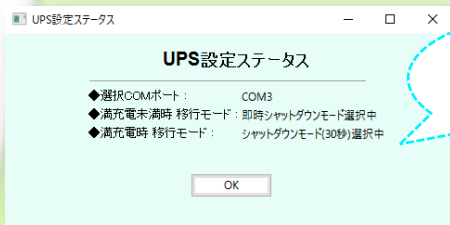
サーバ太郎Type-P
と同等のサイズ

ソフトウェア動作例

電源管理モード設定



UPSに自動実行させたい
モードをラジオボタンの
項目から選択

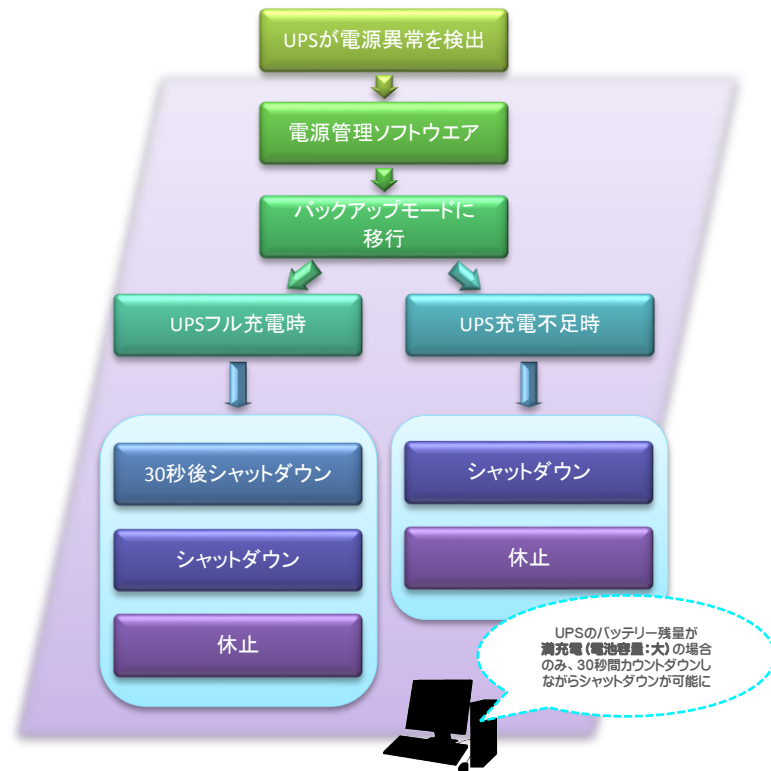


各種モード設定終了後に
現在選択されているモードを
確認できるウィンドウを表示

電源異常発生時に設定したモードでシャットダウン動作

※Windows 版の画面になります

電源管理フロー



UPSのバッテリー残量が
満充電(電池容量:大)の場合
のみ、30秒間カウントダウンし
ながらシャットダウンが可能に

ソフトウェアの仕様

- UPSと通信を行い、電源異常発生時にPC側の電源管理を行います。
- 突然の電源障害時にPCを即座にシャットダウンし、データを保護します。
- 異常が検知されると事前に設定した「シャットダウン」または「休止」処理を実行します。
- UPSが満充電の場合、シャットダウンが始まるまでの時間をカウントダウン表示することが可能です。
- 異常検出時の動作選択はGUIから行うことが可能です。

注意事項

- 仕様は予告なく変更されることがあります。
- 電源障害が発生した際に手順通りにシャットダウンする機能はありますが、サーバのリブート(再起動)機能はありません。
- 電源復旧後、再度プログラムを起動させる必要があります。
- 電源障害による自動シャットダウンが開始される際にポップアップウィンドウを開いてしまうと正常に終了することができません。
- UPSと通信するCOMポートを選択する時、必ずデバイスマネージャー等で確認を行ってから設定して下さい。UPS間との通信がうまくいかない原因になります。
- カウントダウン時、カウントダウンウィンドウをマウス等で動かさず操作をしないで下さい。時間内にウィンドウが正常に終了しない恐れがあります。
- UPS本体プログラム実行時に初期設定プログラムの設定を更新してしまうと、COMポートが自動的に書き換えられてしまうためUPS本体プログラムがエラー終了してしまいます。設定を更新した場合には必ず再起動を行ってください。
- Windows7以上のOSの完全上位互換OS以外の動作保証はされません。
- 過充電、過放電を防止するためにはAC電源を挿入する必要があります。
- 会社名および製品名などは一般的に各社の登録商標です。
- 2017年11月時点での仕様です。

販売代理店

(注意)

- 会社名、商品名、テクノロジー等の権利は一般的に各社に属します。
- 製品のイメージ、色は実物と異なる場合があります。
- 動作環境は設置された周囲の状況により大きく変わります。必ずご確認ください。

株式会社ピノ

〒141-0031 東京都品川区西五反田8-7-11 アクシス五反田ビル7F
TEL:03-5719-9081 FAX:03-5719-9087 URL:http://www.pinon-pc.co.jp

